

頓阿古蹟とんあのこせき

〔旧跡は妙心寺の西にあり、頓阿法師山莊なり、今さだかならず。今時洛東双林寺そうりんの門にあり、蔡花園さいげをんあん院の額あり、この古跡移すものならん歟。前巻に見えたり〕

迎陽文集云

抑蔡花園つゝ院者、平生棲息之閑地、終身安山之幽莊也。

頓阿五旬願文 応永五年四月弟子法印

大和尚位権少僧都經賢敬白

花の頃関白殿蔡花園に入らせたまひて、

山の花といふ事をよませられしに

草庵

げにかゝる花の春にやはざらむ花さく山の陰にすまずば

頓阿法師

仁和寺の庵室にて

同 世のうきをそへてきくこそ悲しけれ都にちかき山のあらしに

同

蔡花園にまうで、法事の後、御室木守の

神殿などの花をたゞひとり眺望して

家集

たぐひなき色をしるべきうき身さへひとりみ山の花の陰哉

堯

孝